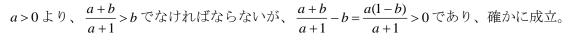
1967 年東大文 4

y = ax + bが AC, BC と交差するとき

$$AC$$
 との交点は $Q(0,b)$ 、 BC との交点は $R\left(\frac{1-b}{a+1},\frac{a+b}{a+1}\right)$ であり、

$$\triangle CQR$$
 の面積は $\frac{1}{2} \cdot (1-b) \cdot \frac{1-b}{a+1} = \frac{(1-b)^2}{2(a+1)} = \frac{1}{4}$ $\therefore (1-b)^2 = \frac{a+1}{2}$

$$0 \le b < 1$$
 であるから、 $0 < \frac{a+1}{2} \le 1$ $a > 0$ より $\therefore 0 < a \le 1$



$$1-b = \sqrt{\frac{a+1}{2}}$$
 $\therefore b = 1 - \sqrt{\frac{a+1}{2}}$ $(0 < a \le 1)$

y = ax + bが AB,BC と交差するとき

$$AB$$
 との交点は $P\!\!\left(-rac{b}{a},0
ight)$ 、 BC との交点は $R\!\!\left(rac{1-b}{a+1},rac{a+b}{a+1}
ight)$ であり、

$$\triangle BPR$$
の面積は $\frac{1}{2} \cdot \left(1 + \frac{b}{a}\right) \cdot \frac{a+b}{a+1} = \frac{(a+b)^2}{2a(a+1)} = \frac{1}{4}$ $\therefore (a+b)^2 = \frac{a(a+1)}{2}$

$$0 < -\frac{b}{a} < 1$$
 であるから、 $0 < -b < a$ ∴ $a + b > 0$ $a + b = \sqrt{\frac{a(a+1)}{2}}$ ∴ $b = \sqrt{\frac{a(a+1)}{2}} - a$

$$b < 0$$
 であるから $a > \sqrt{\frac{a(a+1)}{2}}$ $2a^2 > a^2 + 1$ $a^2 - 1 = a(a-1) > 0$ ∴ $a > 1$

$$a>0$$
 より、 $\frac{1-b}{a+1}>-\frac{b}{a}$ でなければならないが、 $\frac{1-b}{a+1}+\frac{b}{a}=\frac{a+b}{a(a+1)}>0$ であり、確かに成立。

a>0 より、y=ax+b が AB,AC と交差することはないから、以上により

$$0 < a \le 1$$
のとき $b = 1 - \sqrt{\frac{a+1}{2}}$
 \vdots
 $1 < a$ のとき $b = \sqrt{\frac{a(a+1)}{2} - a}$ ……(答)

